

分野： (1) 小児・成人ぜん息に関する調査研究
② 高齢ぜん息患者の療養状況に関する問題点の解明とその改善のための効果的な治療方法の策定

(1)-②

委託業務名： 高齢ぜん息患者の療養状況に関する問題点の解明とその改善のための効果的な治療方法の策定

調査研究代表者氏名： 鈴川 真穂

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	1人	2人	1人	1人	0人	3.60
(3) 研究計画の妥当性	1人	0人	4人	0人	0人	3.40
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.50
(6) 総合評価(第2評価)	1人	1人	2人	1人	0人	3.40
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.47

2 記述評価

- ・一般クリニックでどの程度、使用が可能かを確認してすともっとよい。
- ・総括票に「『高齢者ぜん息フェノタイプ分類に即した医療提供のためのフロー』作成が困難であった」については詳細な説明が必要。
- ・論文投稿の関係で、レフリーの意見により内容が変化させられたことは残念である。委託業務名の「高齢ぜん息患者の療養状況に関する問題点の解明とその改善のための効果的な治療方法の策定」に添って、一般化するために作成すべき質問表の項目の妥当性、正当性を明らかにし、効果的な治療法を策定すべきである。
- ・1つの重要な成果であるが、高齢者ぜん息質問票が、非高齢者や小児などとは特異的である点を明確にする、または明確にできる項目などについて検討してほしい。あるいは、共通点を検討してほしい。
- ・我が国における高齢者喘息の実態を明らかにしつつあり、高齢者医療の実践・応用に大きく寄与する研究成果と思われる。
- ・線形回帰分析に基づく高齢者ぜん息に特徴的な変数(質問項目)の選択結果について、その解釈が恣意的にならないように妥当性検証を適切に行う必要であると考えられる。